

IDS が Ensenso 3D カメラポートフォリオを低価格セグメント向けに拡大：新しいエントリーレベル 3D カメラ汎用でコスト効果に優れた、超コンパクトな Ensenso S10

予算が厳しい量産型の 3D 用途では、通常は低コストかつ高速で統合しやすい産業用カメラ技術が必要となります。IDS の新しい Ensenso S10 は超コンパクトな IP65/67 保護等級のハウジングを備え、人工知能がサポートするレーザー三角測量を使用して 3D データを生成します。これにより、多彩な用途に適したカメラとなり、暗い環境でも確実な 3D データを提供します。

Ensenso S10 には 1.6 MP Sony 製センサーが搭載され、レーザーベースの 3D プロセスで動作します。ナローバンド赤外線レーザープロジェクターで高コントラストのドットパターンを作成します。困難な表面を持つ物体や暗い環境でも可能です。カメラのレーザー三角測量はニューラルネットワークによって高速化され、撮影されたパターンポイントをハードコードされた投影位置に確実にマッピングできます。この結果、高精度の奥行情報を持つ確実で幾何学的に正確な 3D データが得られます。物体との距離が 50 cm の場合、最大偏差はわずか 0.6 mm です。プロジェクターのフルパワーでは、Ensenso S10 3D は毎秒最大 20 の点群を一貫性のある高品質と解像度で作成できます。

丈夫な亜鉛ダイキャスト製ハウジング、60° の視界、動作距離 0.5 ~ 3 m の 3D カメラは汎用で、高いコスト効果が求められる産業用途に最適です。実績のある柔軟な Ensenso SDK と組み合わせると、多彩な用途にすばやく簡単に組み込めます。たとえば、大量のバリエーションの中から物体を確実に把持したり、ロボットと UAV を衝突させずに移動させるために障害物を検知したりする必要がある場合が該当します。このため、Ensenso S10 は物流のオートメーションやロボット工学および農業分野で中心的な存在です。特に、価格に制限のある量産型のプロジェクトで産業品質の 3D 画像処理を活用できるようになります。

詳しい情報は：<https://jp.ids-imaging.com/ensenso-3d-camera-s-series.html>



- 新しい Ensenso S10 3D カメラ：超コンパクトで高いコスト効果

IDS Imaging Development Systems GmbH について

産業用カメラメーカー IDS Imaging Development Systems GmbH は、高性能で使いやすい USB、GigE および 3D カメラを開発し、多彩なセンサーとモデルを取り揃えています。その応用範囲は無限といっても過言ではありません。研究開発分野でも、装置や工場設備など機械工学を始めとする産業分野でも様々な活躍をしています。定評のある CMOS センサーカメラに加えて、IDS ではビジョンアプリベースのセンサーとカメラも製品ラインナップとして展開しています。なかでも斬新な画像処理プラットフォーム IDS NXT は、自由にプログラミングでき、汎用性に優れています。

1997 年に社員 2 人の会社として創立して以来、IDS は、社員 330 名以上の独立した ISO 認定ファミリー企業へとグローバルな発展を遂げました。本社はドイツ・オーバーズルム（バーデン＝ヴュルテンベルク）にあり、開発と生産を一貫して担っています。またアメリカ、日本、韓国、イギリスの支社およびヨーロッパ諸国のオフィスによって、IDS は国際的なプレゼンスを確立しています。

アイ・ディー・エス株式会社

〒108-0073

東京都港区三田1丁目3-33 三田ネクサスビル3階

Sales contact

電話番号: +81 3 6260 0833

apacsales@ids-imaging.com

<https://jp.ids-imaging.com>

IDS Imaging Development Systems GmbH

Dimbacher Str. 6-8, 74182 Obersulm, Germany

Claudia KIRSCH

電話番号: +49 7134 96196 0

c.kirsch@ids-imaging.de

www.ids-imaging.com